いずみ
発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所　松浦印刷所

県教委 大野支局廃止

今年三月末県教育委員会は今年五月末を以って若狭支局以外の四支局、南越、高志、坂井、大野の各支局を廃止することを決議しました。したがって、六月以降今までの支局管下は県直属となったわけであります。

廃止の理由の主なものは、

一、地方教育委員会が成長して自主的に活動し得るようになったので、県教育委員会の出先機関の必要を認めない。

一、各支局員は県に引き上げ、指導、監督、人事、事務処理等全県的視野に立って強力公平に推進する。

というにあるらしい

今まで福井県教育委員会事務局は県内の五カ所に支局を置いて所管事項を分担させていました。即ち支局長を置いて管内の小、中学校教育の指導監督、教職員の人事に関する諸問題を委ね、学校、社会の両指導主事をして管内小、中学校の教育指導、社会教育の指導推進にあたらせ、他に数名の職員を置いて管内学校教職員の諸給与その他諸般の事務を処理して来ました。大野市、勝山市、和泉村、西谷村は大野支局の管下でありました。したがって特別の場合の外小中学校に関することや、一般社会教育に関する要件は大野支局で処理されて来ました。

西谷村、和泉村等、福井市から遠隔の地にある交通不便のへき地は県直属となっては色々の不便不都合もあるので、再三実状を訴えて善処方要望して来ましたが、同情者があっても、同調して強く主張する向きも少く、県教委として も我々の言い分はよく理解された筈だから、へき地の不便不都合を見殺しにされる事もなかろうと成り行きを見ようと思います。

六月強調目標

私共の一生のうちで何が一番無駄使いされているだろうか。紙の無駄使。衣服の無駄使。金の無駄使い。無駄口。無駄遊び。では無駄使いの中で一番惜しいものは何であろうか。紙か。衣服か。金か。もし命を無駄使いしたら、誰でもあゝ惜しいもったいないと言うであろう。しかし命とは何であろうか。それは時間の連続ではないか。時間を無駄にする事は命を粗末にする事である。自分の命を無駄にしているのではなかろうか皆さん時間を守りましょう。

法令のまど

証文があってもあぶない

＝宅地の借地期間のはなし＝

家を建てるため地主から宅地を借りる場合に、普通借地契約書を作りますその際、契約書に借地期間として三年とか五年の期間を定めます。そして地主はこの証文さえあればもう大丈夫だとすっかり安心します。契約書にはつきりと期間が書いてあるのだから、その期間がくれば家の持ち主は当然に家をとりはらって宅地を返してくれるしもし持主が約束を破って返してくれなければ出るところに出れば必ず勝てると信じているわけですから、地主のこの安心は、無理からぬことです。

しかし法律は必ずしもそう地主につごうのいいようにはできておりません地主と借地人のいろんな状態をくらべてみますと、普通地主は「持てざる者」ですが、借地人は「持たざる者」でしよう。地主はたとえ宅地を人に貸さなくても（例えば宅地を売ったりしてやってゆけるでしようが、宅地を買う金のない人や、適当な宅地が見当たらない人は、地主から宅地を借りなければ家を建てゝ住むこともできず、またそこで商売をすることもできません。ですから、宅地を借りなくてもいいなどとすましているわけにはゆきませんそこで地主にたのみこんで宅地を貸してもらうことになるのですが、そうすればいきおい地代・借り賃・借地期間などで地主のいい分をそのままのまなければならないことになります。その結果、借地期間は三年とか五年長くてもせいぜい十年といったように自然に短かくなります。

そこで法律が、この三年とか五年とかの期間をうのみにして地主のかたを持つことになると、借地人にはきのどくなことになります。またせっかく建てた家を三年や五年で取りこわさなければならないことになると、社会の経済にとっても決してよくなことではありません。そんなわけで、法律は、地主と借地人とがせっかく契約書を作り三年とか五年とかの借地期間を約束しても、その期間をそのまま認めるわけにはゆかないのです。

そこで法律（借地法）は、普通の建物木造家屋のような建物で、石造・土造・れんが造・鉄筋コンクリートのような建物を除く）を建けるために宅地を借りた場合に、（地上権でも賃借権でもどちらでもよいが）借地期間が二十年未満ならば、いかにりつぱな証文があつても、そのような期間の約束だけはなかつたものとして取り扱うことにしております。（もちろん二十年以上の約束であれば有効となります）さて、期間の約束がなかつたものとして取り扱われることになると、いつたい借地期間はどのくらいの長さになるかが問題となります。そこで法律はその場合には三十年としております。また、はじめから期間を全然約束しなかつた場合にも三十年とすることにしております。もし建物が石造・土造・れんが造または鉄筋コンクリートのように堅固なものである場合には、借地期間は六十年とされます。なお堅固な建物の場合でも三十年以上の期間を約束していれば、その期間が有効となります。そこで地主は、証文があるとか、短い期間だからといつて安心しているととんでもないことになります。出るところに出ても勝てません。さらに三十年または六十年の期間が過ぎても、建物がある限り、なかなか簡単には建物を取りのぞいてはもらえません。

ですから地主は建物を建てるために宅地を貸す場合には、よく専門家と相談することが大切です。また、借地人は地代・借り賃をとどこらない限り、三十年間または六十年間宅地を使用する権利があるわけですから、たとえ証文に三年とか五年とか書いて判を押していても、安心して住んでいればよいわけです。

以上のことは宅地が県有地や市町村有地である場合にも原則としてすこしもかわりはありません。なお、このはなしは、博覧会や興行場等のように一時的なもののために宅地を貸した場合は、全然別となりますから注意して下さい。

◆

災害復旧工事の足どり

五月十二日、高志事務所長、仝耕地課技師、昭和三十四年度耕地復旧事業の竣功状況を視察。

五月十九日、大野土木出張所課長昭和三十四年度村公共土木復旧工事竣功立会検査に来村。

五月十九日、高志事務所耕地課技師、昭和三十四年度耕地復旧事業の事務監査に来村。

〔昭和三十四年度、小災害決定額〕

公共土木工事　一九カ所　一、九六七千円
耕地関係工事　五一カ所　三、三三三千円
林道工事　一九カ所　一、一三〇千円
〔昭和三十五年度発註災害復旧工事〕
公共土木工事（道路）
大谷中島線　伊勢地係　四カ所
〃　米俵地係　六カ所
〃　荷暮地係　一カ所
橋梁　米俵地係　一カ所
〃　上大納地係　一カ所
計　一三カ所
耕地復旧工事
用水路　東市布地係　一カ所
用水路　上半原地係　四カ所
提防　〃　一カ所
護岸　荷暮地係　三カ所
水路　池ケ島　一カ所
護岸　〃　一カ所
頭首工　箱ケ瀬　一カ所
〃　大谷　一カ所
護岸　影路　二カ所
橋梁　久沢　一カ所
水路　〃　二カ所
橋梁　米俵　一カ所
頭首工　伊勢　二カ所
水路　〃　二カ所
護岸　長野　一カ所
頭首工　小谷堂　一カ所
水路　三面　一カ所
揚水機　板倉　一カ所
農道　角野　一カ所
〃　下山　一カ所
頭首工　下山　一カ所
水路　〃　一カ所
〃　下大納　一カ所
頭首工　上大納　一カ所
計　三四カ所
（写真は用水復旧工事…下半原地係）

被災者に資金貸付完了

昨年の災害を被った人に天災融資法による経営資金、総額一千万円の貸付が五月十日完了しました上穴馬農協分　五百七十万円
下穴馬農協分　四百三十万円

建設省技官ら来村

荒島隧道視察

五月六、七の両日、建設省国道課長補佐、箕輪技官、県道路課長ら一行が二級国道金沢・岐阜線の北陸東海地区貫通道路としての重要性並に路線の災害復旧状況、荒島隧道視察を目的として現地調査を行つた。

その結果、技官は国道の重要性を認識し、路線の短縮をはかること、国道の開発をすることを確認した。しかし荒島隧道掘鑿については次の難点が残された。

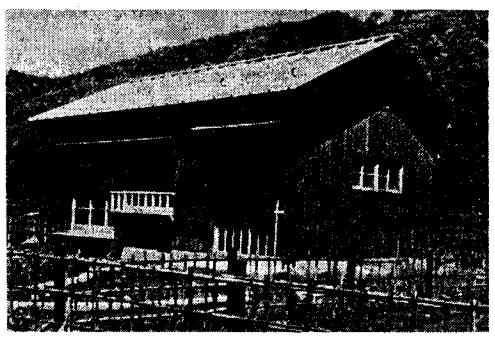
①経費が多額に要すること。

②延長五キロの隧道にはガス抜き坑口の必要があるが、カブリが深過ぎるので三キロまで短縮出来ないか。

③下山附近がダムによつて水没する場合どの程度まで水位が来るかハツキリしない。

公営住宅完成

予算一、一三四千円をもつて朝日に一戸建二棟、大谷に二戸建一棟を建設中の公営住宅が、この程完成しました。（写真は完成した住宅）



昭和34年度産業奨励費の事業実績

34年度産業奨励費は総額384、250円で生産補助、副業補助、畜産補助として上、下農協より事業実績により支払いすることになりました。

防除機具購入費
動力式3台　背負式5台
手廻式62台　153、000
緬羊生産費補助　44頭　10、000
緬羊導入費補助　25頭　10、000
種緬羊購入費補助　2頭　20、000
牛、馬、緬羊種付委託料
馬1頭　緬羊1頭　21、250
サイロ型枠補助　2基　20、000
稚蚕共同飼育補助　1カ所　10、000
水稲品種改良補助　710k　40、000
シイタケ補助5、500本（未定）
44、000
木炭改良組合補助　2組合　100、000

青年団総会

和泉村青年団は五月七日、大和校に於て総会を開催し次の事項を決定した。

団長の改選
昭和三十四年度収支決算
昭和三十五年度予算
新任団長　松田忠直
新任事務局長　丸山義治

鮎……漁業組合だより

当地の河川が鮎の成長に最適である事は過去三カ年の実績が証明する通りでありまして、鮎の体型独得の芳香、味覚いずれの点に於ても県下にその比を見ないのであります。二、三年前まで全くの素人であつた組合員の中にも、此の頃では県下の河川を股にかけて他流試合を申込みたい位の大天狗の部類に属する者が何人か現われ、小天狗に至つては無数と云つた具合で、その基因する処父祖伝来此の川に依存し誰も彼もが振つて来た竿さばきや触感が「あまご」や「いわな」の場合に一脈通ずるものがあるのではなかろうか。愛好者も地区外遊漁業の増加と共に急激に多くなり、放流事業の意義が一層深く感ぜられます。

開発計画者よ心せられたい。

御承知の様に鮎は九、十月頃に各河川の中流か下流に於て産卵します。生れた卵は〇・二ミリ位の大きさで十五日位でふ化し、腹の中の袋から栄養をとりながら河口に流れ出て、近海を遊泳しながら越年し、翌年三、四月頃河の水温が十二三度で海水温に近くなつた頃から、体長も五、六センチになり、食餌も変ると同時に体色も変化し川に遡上をはじめます。川に遡つた魚は石や岩についている藻類を主食物とし立派な親鮎に成長し、独得の習性から自分の飲分を守る気質や意地悪から、友を寄せつけず追い廻して居る内遂に友の針にかゝり夕食の膳部にのせられると云つた次第ですが、処で稚鮎の種類には滋賀県の琵琶湖で採るものと、海産と云つて各近海でとるもの、河口附近で遡上するものを採補する河口産の三種類ありますが、全国稚鮎需要の大部分は滋賀県の琵琶湖産に依存し、海産、河口産共にとるにたりない数であります。

当組合も今年度は放流量も一躍五七〇キロ約十五万尾の計画を樹てて参りました処、皆様も新聞やラジオでお聞きの通り伊勢湾台風の影響を受け、琵琶湖産稚鮎の成績が非常に悪く、其の入荷が危懼されて居りましたが、幸その後琵琶湖の状況が少し明るくなつて参りましたのと、県水産課長や係官及敦賀河川組合長等の特別の御取扱いにより、最優先的に試験放流と云つた意味で非常に数量の少い中から敦賀の海産鮎を差廻していたゞいたのと、引続き琵琶湖産の配給があると云つた具合で、他組合が例年に比し非常に困つて居る入手難の状態にひきかえ、当組合は例年よりむしろ順調と云つた状況で、十七日までに約九万尾放流し、余す六万尾も近く入荷の予定で、本年は特に鮎の成育にとつては放流直後から天候の模様も順調の様でありますし、成長量は殊更良好であろうと想像されます。

各部落の係員によくお聞き下さつて一人でも多く資源を活用していたゞき、折角の高級品を北電のタービンで粉砕せないで、村民各位のお腹のクラッシャーで愛護活用していただきたいのであります今年も又何人か大天狗の部類に昇段される組合員が出来る事でしよう。

（写真は稚鮎の放流）

国民年金所得状況届について

国民年金を受けておられる方は毎年六月中に「国民年金所得状況届」を提出せねばならない事に定まつて居ります。

この届を提出しない時は九月期からの年金の支払を停止されますから、六月中にお忘れなく「国民年金証書」と「印鑑」を持参の上役場へ来て手続きをして下さい。

この道三十年

県下の製炭横綱　永瀬夫妻

製炭の名人として村の表彰はいわずもがな昭和十六年の久保田知事を始め知事表彰四回更に農林大臣賞を授賞された県下の製炭横綱永瀬強さん。製炭の横綱と言われる永瀬さんの炭はどこがどんなによいのだろう。元木炭検査員その他二、三の人からきいてみた。（写真は最近の永瀬さん）

まず永瀬さんの炭は表裝がしっかりしていて容易にこわれたり変形せずむだがなくきれいです。

第二に俵を開いて見て、外側と内側と全く同質で、内側に悪いものを入れるなんて事は絶対ありません。第三に二十俵作れば二十俵三十俵作れば三十俵殆んど甲乙のない様に選別が十分良心的ですね

第四には一年に窯を十パイ焼いても十二ハイ焼いても殆んどよしあしなく良い炭を出します。一俵の量が規定より必ずどれだけか多くて足らぬという事は絶対ありません。

又炭にする木を大切にして根本の太い所から労を厭わず伐って粗末にせず、山を掃いた様にします技術もよいのだが、根本は誠実なんですね。との事。

永瀬さんは本年六十五歳、二十三歳で製炭を始めてから四十余年この調子で焼き通した。上達した動機は、製炭を始めた時岐阜県の仁村という親方についたが、この親方が格別良心的な一徹な人で、焼き手に次の事を強く注文した。

製炭をするには木炭を買つて使うお客の気持になつて焼いてくれお客さえつけばこれは木炭ではない。一つ一つがお金だから大切に取扱つてくれ。製炭は信用が第一だと。

永瀬さんはこの親方と意気投合し十二年間離れずいて、八年目から初心者の為に窯を築いて二、三パイ焼いては模範を示し指導したこれでごまかせない男となつてしまつた。しかし血気な永瀬さんは三十歳頃転業を思いたつた。或る日親方に相談すると「俺はもと大工で転業したが、今から思うと結局仕事は同じやのう。その腕で転業は惜しい」と言つたので以後転業は思わなかつた。そしていよいよ信用第一主義に堅まつた。

同僚はよく笑つた。「お前は選別が丁寧で量を多くして一生の間には随分損するなあ」と。

ある時愛知県の未知の人から手紙が来たが、どうも変だと配達人立会で開封すると「あなたの木炭を使つたがあまり良いので感謝している。今後も頼む」とあつたがこんな事も一再ではなかつた。大野附近の業者も永瀬さんのならと時価より二十円から四十円位先方で好んで高く買つた程だ。

製炭の量は一年千五百から二千二百俵焼いた。一人前八百というから二人前以上である。

強さんが前記の様に質量ともに抜群だが、その裏にはすばらしい夫人の内助がある。夫人は稀なテキパキやで表裝は殆んど引受ける或る品評会では表裝一等、木炭一等の授賞もあつたし、大野の表裝競技会には夫人が出場し、四十余人の男子選手に伍して紅一点で一等を獲得し、県の大会には丸表専門なのに不得手な角俵競技会に出てまだ紅一点で二等を占め、並いる製炭自慢の男達をくやしがらせ県下にその名を売つたのであつたが、大変感謝しているのである。

公民館巡回映画

「映画」といえばだまつて見てだまつて帰るものだと思つていられる方が案外多いのではないでしょうか。たゞフィルムが回るのを見て、電灯がつくのをまつてそのまま帰るのでは、あまりにももつたいないことです。

特にその映画が文化的な内容をもつたもの、心に何かの感動を与えるもの、あるヒントを与えてくれる様なものであれば尚のことでこの様な映画を観たときは話し合いによつて幾分でも映画の効果を挙げてもらいたいものです。

公民館の巡回映画が年間五回各地で行なわれる事となり、先月から巡回して居りますが、この映画は大変有意義な映画でありますから一人でも多く見ていたゞき、映画を実質生活と結び文化生活が高まる様協力していたゞきたいものです。

第二回巡回　六月十一日～十七日まで

題名　（眼がほしい）

（説明）私たちの見た盲人の子供たちは驚くほど明るい。そして元気で先生達の指導で素晴らしい工作品をつくつていた。その感動的姿である。

題名　（本日は村の休日）

（説明）いつものことながら男達は「農事研学」これは一升ビン片手に貸切バスという態のいい慰安日、残された婦人たちは残務整理に忙殺される。そこで婦人達は立ちあがつた。男たちはあわてた、しかし村は明るく変つた。

題名　（洪水と対策）

（説明）私たちはどのようにして洪水と戦つているか、禿山の植林砂防ダム、溜池、調設池、放水路堤防、いろいろな水制装置、ダムの築造等詳細に解説する。

テレビありがとう

久沢分校の子供達

和泉村は何処の部落もテレビが映りにくいが、久沢部落だけは例外で、名古屋から来るNHK、東海、CBC、三重の電波が全部明瞭に映像され、その程度は名古屋市の近辺と異ならぬほど鮮明なので既に数戸の家庭にアンテナが立てられている。

今年になつて部落のPTAはテレビが学校にないのは不都合だと水害後の山不況で経済的にめぐまれない困難な時にも拘わらず、二十一吋の大型テレビを寄贈した。先生や子供達は大喜びで、これで東京や大阪の子供達と一諸にテレビを見ながら社会科、音楽、理科等いろ〳〵な授業が出来、未だ見たこともない土地の様子、奇麗な音楽のメロデー、回虫の発生順序など手に取るように説明され、而も楽しみながら勉強できるし、先生方も、淋しい山の村の生活にラジオよりは一段すぐれた慰安や教養が得られるようになつて大変感謝している。

このような有難い部落の方々の心尽しに感謝し、大いにテレビを活用して教育効果を挙げ、期待に背かぬようにと努力されている。

（写真は久沢分校におけるテレビ観賞）

山村とやぎ

仔山羊を買うときには、なるべく骨格の発達したものを選び、よい親の系統を伝えているもの、出来れば確実な血統書の持つているものが望ましい。然しいくら血統書付きでも、管理が悪ければ、雑種より劣ることになります。たとえ雑種でも管理が行届き、我が子を見るように面倒をよくみてやりますと、能力以上の泌乳が得られることは、多くの例があります。

山羊の種付けは大体秋が多く、仔山羊は五箇月位で発情する位ですから、大ていの人は一年仔に、子を産ませたがるのが普通ですが山羊のためにも、あとに生まれる仔のためにも、又泌乳能力のためにも、二年目の秋から冬にかはて種付するのが最もよい方法です。

山羊は子を育てながら、自分も太らねばなりませんから、一年仔と二年仔では格段の差が出来て了います。一年で種付した山羊はもう生長が一旦止りますから、姙娠分娩によつて、著しく体位が落ちてしまうものです。そこで急に母乳不足や病人のために山羊を飼おうとする時は、子ばらみの親を買うか、泌乳中の親山羊を買うべきだと思います。なお専門的な事項については、農業改良普及員の方について充分御指導を受けられたらよいでしょう。（終）

炭焼きサラリーマンはいかが

私達の生活を合理的に計画的にすることは最近いろ〳〵な機会を通じてさけばれて居ります。

お金のある時はじやん〳〵使つて、お金のない時はたとえ必要なものがあつても辛棒すると言つたことの繰返しは、家庭経済が不安である上に、改善設計が樹ちにくいものです。

今までは村の労働条件、状態からお金の入る時期が定まりにくく止むを得ない状態でありますが、上地区農協では製炭者の月給制を計画して実験し、本年は普及しています。

従来製炭者が炭の出荷した代金がすぐに支払われ、又前渡として支払済であつたりして生活費その他に使われ、年の暮になると製炭に使用した諸費用が支払い出来なかつたり又翌年度の原木資金も残らなかつたりすることが多かつたので、一昨年から実験的に月給制の製炭者をやつて見ましたが、結果がよく製炭者もよろこんで居ります。

その方法は、製炭者が農協と相談してその年の製炭俵数を計画しそれを割合に狂いの少ない価格で見積り年間の総収入を見積りますその中から支払いしなければならない原木代金、製炭諸費、更に翌年度の原木資金に充当する金額等を差引き、残り金額を十二カ月に分けて農協より受取り生活費に充てるものです。そのためには炭は全面的農協委託でなければなりません。

農協の取扱手数料は普通と同じです。現在は製炭者により月額二万円、二万五千円、一万五千円などまち〳〵ですが、一旦月給制にしたからには農協、製炭者はよく協議し金額等は崩さない様にして居ります。現在月給制をやつている方は、原木代金その他の支払が順調に出来て歓迎されています。

部落探訪

巌銅鉱山の概要

巌銅鉱山は和泉村下地区角野区にありて古くより銅山として知られ、明治維新前後には相当の銅鉱を採掘されたよしであります。

其の記録等は審かでありませんが、鉱区は二鉱区に別れて一鉱区はどゞめき鉱山、一鉱区はがんど一鉱山として採掘されて来たのでありますが、永らく休山中の処、明治三十年大野郡富田村蕨生の豪農大畠久米之助氏の経営する処となり、大野市鍋谷太右ェ門氏鉱山長となり採掘され、一方がんど鉱区は石川県人大和氏、庄内礼吉氏等により採掘され、双方共銅鉱の産出に全力を尽されつゝありたるに、一時銅価の下落に依り双方共休山し休業中の処、明治四十年三菱面谷鉱山の鉱主買収する処となり、両鉱区を合併し一鉱区として探鉱並に採鉱に着手し、面谷鉱山の支山として選鉱の施設を致されクラシヤー、ローラー外水選に依り日産三十五瓲の製鉱を産出され本山に送り、相当盛大に経営を続けられたのでありましたが、時代の変選に依り本山面谷鉱山の休山に依り、次第に休業状態となり閉山の已むなきに至つたのでありましたが、昭和六年三菱より角野区へ鉱区払下げとなり、仝年末同区より東京人沼田氏へ鉱区を売却し昭和八年沼田氏より当時新望銅山株式会社に売却し、同社の所有に期し、同社に依り開発に着手せられ経続中更に社名の変更し日本産銅株式会社となり、昭和二十八年浮遊選鉱設備に依り日産三十屯の目標を以て採掘中の処、一時銅価の直下りに依り休業中、現状となつて居るのであります。当鉱山の鉱床及び鉱脈は大体東西に走向を保ち、東は長野鉱山、西は有銅鉱山と連絡し、相当の延長を持し、本村の銅山としては望みを持てる山として知られているのでありまして、地下資源開発の今日、日本産銅株式会社の開発着手の速かならん事を望むものであります。

木の成長を早める

林地肥培

杉や檜のような高価な林木に対する施肥は現在きわめて重要視されています。施肥の時期は、苗木を植えた年からその後二、三年が最も効果的です。林木の一生のうちごく若い中に肥料をあたえて早く太らせるのが、下刈りその他最も得策で成林してからでは効果が薄い。

○……肥料のやり方は、一般に林地では燐酸や加里にくらべて窒素が一番効めがある場合が多いとされ、山林用肥料は硫安や石灰窒素などの窒素だけが使われ、それでも相当の効果をあげた例もあります。しかしこれで十分かどうかは重要な問題で、小さい苗を、苗畑とちがつて病害虫や寒い霜害などの危険にさらされる山地に育てるのですから、まず丈夫に育てる事が必要で、施肥の場合もこの点に注意し、窒素肥料のみでなく三要素である燐酸や加里を適量に与えるのが最も安全で合理的です。

特に寒害の多い地方では窒素肥料だけ使うのは木を軟弱に育てることとなり危険です。それで山林用肥料として一般に使われている固型肥料は、この三要素を適当に含ませたものですから好都合といわれています。

○……第一回目の施肥はいつがよいか。

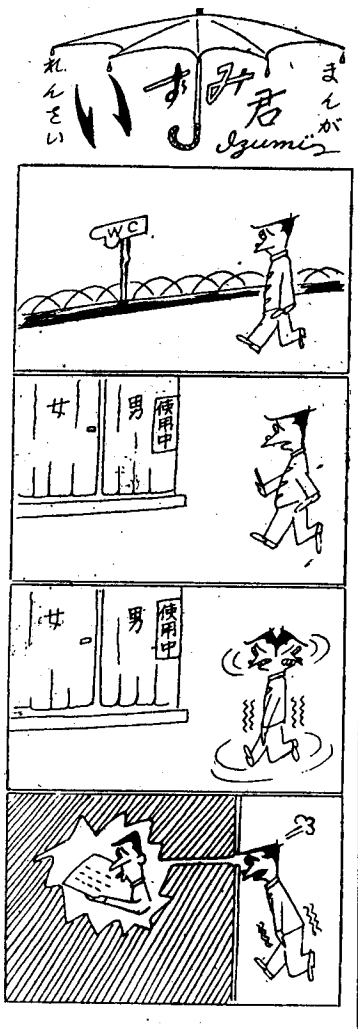
肥料を施すには元肥は非常に重要な意味をもつています。山林の場合は苗木の植栽を行う時、同時に施肥する程度ですが、この時特に注意を要する事は、苗木が遠くから運ばれて弱つている様な時は肥焼の心配がありますから、雨の降るのを待つてするか、活着を見とどけてする方がよいのです。

○……固型肥料を施す位置

苗木を植えたあとその木のまわりに十五センチ位の穴を三、四カ所あけて施肥して下さい。この時根の張り方をよく考えて、施した肥料が木の根には直接にふれない様に特に注意して下さい。

当和泉村で施肥した人の感想は木が伸びすぎて病虫害に幾分弱いとか、雪害に弱いと云う人も少しはあるが、大部分の人は効果を認めており、標準よりは施肥の量をやゝ少な目にすれば効果甚大と云う人が多い。

（林業改良指導員）



いずみ俳壇

菜の花に駈ける素足の声はじけ　中出　芳乃

難き世に新緑やさし鉱山包む　杉本　政子

陽すする鉱夫の肩間みどり受け　伴　俊　孝

打ちこんだ地の鶴嘴壁から暁光　木下いさを

みどり混む鉱泡磨く風の紋　松橋紀代二

矢車の金光磨く児の瞳　福沢　竜峰

人のうごき

【出生】

下半原　林　長　俊　繁　長男
持　穴　尾崎多賀子　行雄弐女
大　谷　池尾久美子　茂成弐女
野　尻　野口明紀子　伸男参女
野　尻　宮沢　秀幸　由男四男
久　沢　野村耕三　宗右ェ門弐男
上大納　山岸　修二　明　長男
中　竜　五十嵐由起子　秀雄弐女

【婚姻】

○大谷　池田　貞夫
大野市蕨生　松田　英子
○三面　久保田宗一郎
野尻　古川　節子
○野尻　宮沢　和雄
大野市森政地頭　山田さちよ
○長野　西藤　信隆
勝山市鹿谷町　南部八重子
○名古屋市南区　内田　文一
下半原　石神　豊子
○美濃市安宅　山口　鈴一
長野　下西富美子
○中竜　塚本　慎一
中竜　上田　信子
○中竜　中村　定男
中竜　菊地　弘子
○中竜　吉富　由春
中竜　吉武美智子

【死亡】

野　尻　古川　いと　七五歳
下半原　石神　たか　五八歳
角野前坂　三橋三太郎　八三歳
伊　勢　上田　仁松　七五歳
伊　勢　鎌倉善之助　八三歳
鷲　津田　たつ　八三歳
荷　暮　島田　治和　一歳